



<http://oyaba-e.saitama-city.ed.jp/>

# 学校だより

さいたま市立大谷場小学校

## 学校教育目標

— ひとみが輝く子 —  
かしこく  
やさしく  
たくましく  
あたたかく

今月の生活目標

友だちと仲良くしよう

積極的にあいさつする 明るい大谷場小

校長 玉井 康仁

校庭の木々の深緑の中、紫陽花が色づきはじめ、まもなく始まる梅雨の季節を知らせているようです。早いもので、始業式(入学式)から2か月が経ちました。

先日、教育委員会の学校訪問がありました。来校したお客様から、「子どもたちは新しい学年での生活に慣れ、落ち着いて学習に取り組んでいますね」とお話をいただきました。この落ち着きは、ご家庭においてお子様と学校生活の様子を話題とし、お子様の行動を支援する言葉かけがあったからこそ、子どもたちは自信をもって学校生活が送れると思えました。本校の教育活動にご理解とご協力を頂いていることに、改めて感謝いたします。

さて、5月は児童会スローガンが発表されます。今年度は、「積極的にあいさつする 明るい大谷場小」に決まりました。このスローガンは、計画委員会や代表委員会で話し合われ、「みんなで明るいあいさつを交わし、大谷場小が明るく、さらに楽しい学校になってほしい」という児童の思いが込められているそうです。最近では朝の登校時のみならず、廊下で会った時にも自分から声に出して、あいさつする児童が増えました。子どもたちも自分たちの手で、学校をよりよくしたいという意識が芽生えていることを感じています。

あいさつは、人と人との心を結ぶ「1秒のコミュニケーション」です。それは、子どもたちが大人になっても、社会人になっても変わらず大切なことです。「相手のことを思い、相手の目を見て、にこやかにあいさつする」ことで、人間関係はスムーズになり、明るく楽しく生活できると思えます。素直な大谷場小学校の子どもたちには、自分からあいさつができるようになってほしいと思えます。そこで、学校、家庭、地域の三者が一体となってあいさつの輪を広げ、保護者や地域の方々と一緒に、あいさつの声を響かせたいと思えます。

話しは変わりますが、5月17日(木)にPTA総会が開催されました。昨年度の活動の総括と共に、今年度の計画や新役員人事が提案され、承認されました。PTA総会の様子から、学校の教育活動は様々な面で保護者の方に支えられていること、そして、子どもたちの健やかな成長への願いは皆同じであることを改めて実感いたしました。旧PTA役員の皆様には、学校の教育活動を支えていただき、本当にありがとうございました。新PTA役員の皆様には、開校65周年をはじめ今年度もたくさんの行事がごぞいます。一つ一つの取り組みを子どもたちの成功体験につなぎ、子どもたちの思い出に残るようにしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、5月9日(水)に「学校探検」が行われました。2年生が1年生を連れて学校を案内する生活科の学習です。校長室を訪れた1年生は、「(校長室ソファー)ここ座っていい」「(歴代校長の写真を見て)この写真は誰?」しまいには「(私のパソコンを見て)校長先生、何のゲームをしているの?」と、自由に、無邪気に質問をしていました。その様子を見ていた2年生は、どのように1年生に説明すればよいのか戸惑っている様子でした。2年生も1年前は同じだったと思えますが、1年間の学習や学校生活を通して社会性(常識)が芽生えたようで、頼もしく、ちょっぴり大人っぽく見えました。学校での経験を通して、子どもたちは着実に成長しております。今後とも、ご家庭と協力して、子どもたちを教え・育む大谷場小学校の教育を充実させていきたいと強く感じました。